

【化学療法及び放射線治療による性腺毒性のリスク分類表（女性）】

③シクロホスファミド以外のアルキル化剤について、シクロホスファミド換算式を用いることで、対象範囲が拡大

①性腺毒性リスク表記が3分類に変更

女性 〔治療による早発卵巢不全（P01）リスク〕		P01 リスク 「低」	P01 リスク 「中」	P01 リスク 「高」
化学療法	Cyclophosphamide	<4,000 mg/m ²	4,000～8,000 mg/m ²	>8,000 mg/m ²
	equivalent dose (CED)	思春期前（月経未発来）の場合には以下の範囲となる。初経後しばらくは明確な線引きが困難		
		<8,000 mg/m ²	8,000～12,000 mg/m ²	>12,000 mg/m ²
	薬剤別	アルキル化薬		
		CED 参照		
		白金製剤	CDDP <600 mg/m ² CBDCA	CDDP >600 mg/m ²
		代謝拮抗薬	Ara-C, MTX, GEM, 6-MP	
		ビンカルカロイド	VCR	
		モノクローナル抗体	Bmab	
	レジメン別	AC/EC±タキサン	AC×4 サイクル (40 歳未満)	AC×4 サイクル (40 歳以上)
			AC/EC×4 サイクル +タキサン (35 歳未満)	AC/EC×4 サイクル +タキサン (35 歳以上)
			(F)EC×4 サイクル + dose dense タキサン	
		CMF, CEF, CAF, TAC	CMF, CEF, CAF, TAC 6 サイクル (30 歳未満)	CMF, CEF, CAF, TAC 6 サイクル (30～39 歳)
				CMF, CEF, CAF, TAC 6 サイクル (40 歳以上)
		FOLFOX	FOLFOX (40 歳未満)	FOLFOX (40 歳以上)
		Escalated BEACOPP	Escalated BEACOPP 2 サイクル	Escalated BEACOPP 6～8 サイクル (30 歳未満)
				Escalated BEACOPP 6～8 サイクル (30 歳以上)
		CHOP	CHOP 6 サイクル (35 歳未満)	CHOP 6 サイクル (35 歳以上)
		Dose-adjusted EPOCH	Dose-adjusted EPOCH 6 サイクル (35 歳未満)	Dose-adjusted EPOCH 6 サイクル (35 歳以上)
		その他	ABVD, CVP BEP, EP (30 歳未満)	
	疾患別治療		急性骨髄性白血病治療 急性リンパ性白血病治療	骨肉腫治療 ユーイング肉腫治療
	化学療法＋放射線治療			TMZ＋頭蓋照射 BCNU＋頭蓋照射
	造血幹細胞移植			アルキル化薬＋骨盤照射 CPA, BU, L-PAM を含むレジメン 全身照射を含むレジメン
	放射線治療		放射性ヨウ素（I-131）	
				頭蓋照射 >40Gy
				腹部／骨盤 思春期前 10～<15Gy 思春期以降 5～<10Gy
			腹部／骨盤	思春期前 ≥15Gy 思春期以降 ≥10Gy 成人女性 >6Gy

（日本癌治療学会編 小児・AYA世代がん患者等の妊孕性温存に関する診療ガイドライン2024年12月改訂 第2版より）

②使用対象疾患の記載が原則無くなり、治療内容に基づいた分類へ変更

【化学療法及び放射線治療による性腺毒性のリスク分類表（男性）】

③シクロホスファミド以外のアルキル化剤について、シクロホスファミド換算式を用いることで、対象範囲が拡大

①性腺毒性リスク表記が3分類に変更

男性 (治療関連による無精子症になるリスク)		低リスク	中リスク	高リスク	
化学療法	Cyclophosphamide equivalent dose (CED)		<4,000 mg/m ²	—	≥4,000 mg/m ²
			<4,000 mg/m ² : 約 90%は精液所見正常	—	≥4,000 mg/m ² : 精子運動性低下 ≥8,000 mg/m ² : 無精子症が遷延・永続
	薬剤別	アルキル化薬	CED 参照		
		白金製剤	CDDP < 600 mg/m ² CBDCA L-OHP		
		アントラサイクリン	DXR, IDR, DNR, MIT		
		代謝拮抗薬	6-MP, MTX, Flu		
		ビンカルカロイド	VCR, VBL		
		その他	ETP, BLM, Act-D, MMC		
	レジメン別		ABVD, CHOP, COP	BEP 2~4 サイクル	BEACOPP : >6 サイクル 骨肉腫治療 ユーイング肉腫治療
	化学療法＋放射線治療				アルキル化薬＋骨盤照射 アルキル化薬＋精巣照射
	造血幹細胞移植				TMZ＋頭蓋照射 BCNU＋頭蓋照射
					BU＋CPA Flu＋L-PAM
放射線治療					アルキル化薬＋全身照射
					○
					≥40Gy
					○
			<0.76y 放射性ヨウ素 (I-131)	1~66y	成人男性 >205Gy 小児 ≥66y

②使用対象疾患の記載が原則無くなり、治療内容に基づいた分類へ変更

(日本癌治療学会編 小児・AYA世代がん患者等の妊孕性温存に関する診療ガイドライン2024年12月改訂 第2版より)

【長期間の治療により卵巣機能の低下が想定されるがん疾患の例】

治療法	対象疾患
黄体ホルモン療法	子宮体がん
タモキシフェン	乳がん
PARP阻害薬	乳がん
免疫チェックポイント阻害薬	乳がん、肺がん
チロシンキナーゼ阻害薬	慢性骨髄性白血病

④長期間の治療により卵巣機能の低下が想定されるがん疾患の例の提示